



いしおか 社協だより

社協マスコットキャラクター
ゆりちゃん（本名：国府ゆり）



「ポピーと筑波山」 提供：浅尾 仁之 様（石岡市東大橋）



ベビーカー・バギー貸出中

社協では、市民の皆様から提供いただいたベビーカー・バギーをクリーニングし、利用を希望する方へ貸し出しを行っています。



利用出来る方

石岡市に住所を有する方で、乳幼児及び就学前の児童を養育している保護者又は養育者。

貸出台数

一世帯につき1台を貸し出します。ただし、双子や三つ子など多胎児のいる世帯には人数に応じて貸し出します。

利用料

500円 ※クリーニング代の一部をご負担していただけます。

貸出期間

2年以内

プラチナ応援券で地域貢献

社協では、生涯現役プラチナ応援事業のプラチナ応援券（500円券）の寄付をお受けしております。お預かりした応援券は、生活困窮者への食糧支援等、地域福祉推進のため大切に活用させていただいております。



『この広報誌は、皆様からの社協会費によって作成されています。』

事業計画・予算

基本方針

少子高齢化社会と人口減少の進展により地域の活力が失われる中、地域内の住民同士のつながりが希薄になると懸念されます。そのため地域における人と人との関係づくりの再構築、住民相互で支援活動を行うことのできる包括的な体制づくりが重要な課題となっています。また、災害発生時における迅速なボランティアの受入体制の強化など課題も多くなっています。

このような課題認識のもと、本会では地域で誰もがいきいきと安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの考えのもとに地域の支えあいと絆づくりを強化し、住民の互助支援活動を組織化した地域づくりをすすめ、地域共生社会の実現を目指します。

新規事業として、①子育て世帯支援事業、②交通弱者の高齢者支援事業、③ボランティア養成を目的とした各種事業に取り組みます。

更に、ボランティア・関係機関や団体等と連携協働を一層強化し、地域福祉の推進に努めてまいります。

新規事業紹介

1 中学生制服等貸与事業

石岡市立中学校指定の制服と体操着を市民から無償で譲り受けて、希望者に有料で貸し出すことで、子育て世帯の経済的負担軽減を図ることを目的として実施します。



2 高齢者買い物支援事業

生活に必要な買い物等が困難な高齢者に対する買い物支援を実施することで、高齢者世帯で交通弱者の負担軽減を図ることを目的に実施します。



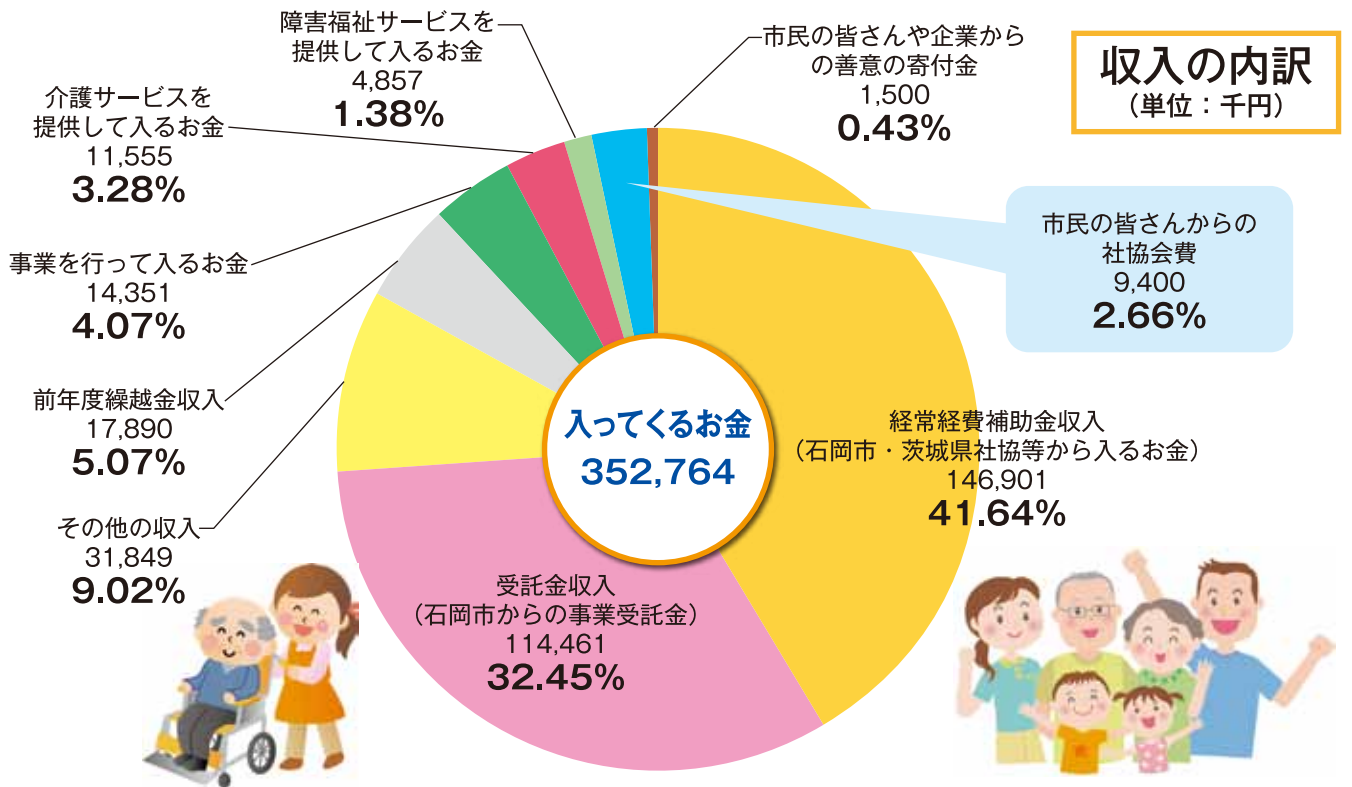
3 ボランティア チャレンジスクール事業

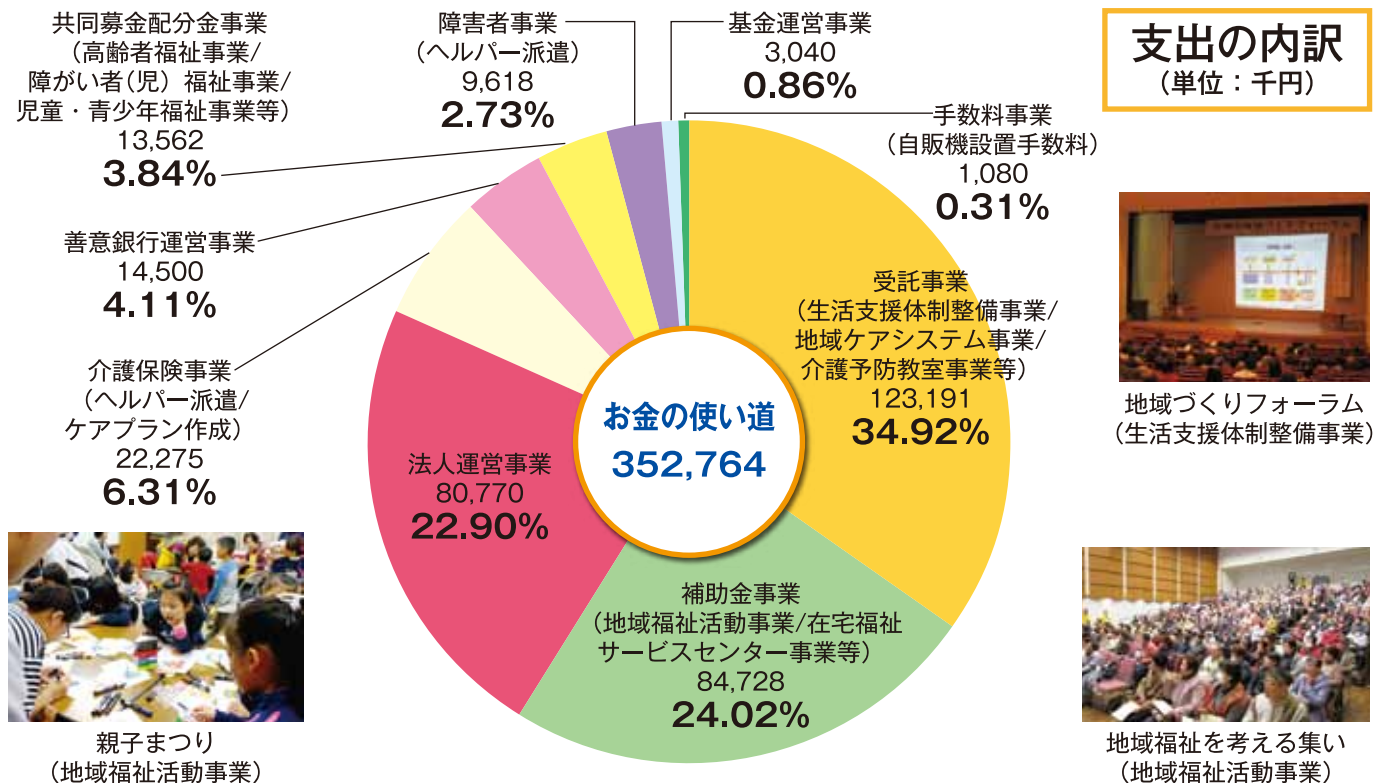
団塊の世代の方々にボランティアとして参加していただき、社協事業協力者の後継者育成やボランティアの充実を目的に実施します。



平成31年度

収支予算





第4回石岡市の地域福祉を考える集い

意見発表内容紹介 No.2

2月2日(土) 「第4回石岡市の地域福祉を考える集い」が開催され、石岡市を明るく住みやすい街にしていくにはどうしたらよいかについて、高齢者や中高生、民生委員、ボランティア、福祉施設職員の8名の方々が、それぞれの立場から意見発表を行いました。前号の4名に引き続き今号では2名の方々の意見発表内容をご紹介します。

(発表順・敬称略)

仲間がいるから出来ること

おはなしグループ「むかしむかし」
石岡市中央図書館ブックスタートボランティア
ボランティアアビびきの会

三浦 美智子



私は今、三つのボランティア活動をしています。

皆さんにとっての楽しみは何ですか？旅行、スポーツ、カラオケ、それともお友達と楽しいおしゃべり、たくさんありますよね。私も同じです。そして私は、その中に絵本やお話があります。

一つ目の活動は、その絵本やお話の楽しさを子ども達に届けるおはなしボランティアです。皆さんは「絵本」とはどのようなものだと思いますか。確かに文字は少なく、字を覚えた子なら一人でも読めます。でも、絵本は読んでもらうもの、絵を楽しむものなのです。人との関わりの中で一緒に楽しむもの

と思います。

「てぶくろ」という絵本があります。今日は会場が広く見えにくいのでおはなし会で子ども達にするように素話をします。

〈絵本内容紹介〉

いかがでしたか。手袋に次々と動物が入りますが、大人はそういうことはあり得ないと考えます。でも子ども達は違います。「みんな一緒にぎゅうぎゅう入って楽しそう。いいなあ。」「手袋はどうなっちゃうのかな。」とハラハラドキドキしながら息を呑み、じっと聞き入っているのです。これはウクライナの民話ですが、日本にも民話はたくさんあり、生活の中で、身近な大人が子ども達に語り継いできました。お話し絵本と同じく、人と関わりを持ちながら、耳からの情報だけで世界が広がり、楽しむことが出来ます。

今、子ども達を取り巻く環境はどうでしょう。人と関わりを持たず一人で楽しめるテレビやゲーム、映像や機械的な音を楽しむものが溢れています。それも又、楽しいと思いますが、時には、人と関わりを持ちながら大好きな人の声で絵本やお話の世界を一緒に楽しみ、ワクワクドキドキする体験もしてもらいたいと思います。

図書館には、おはなしボランティアのグループが四つあります。主な活動は、春の「本となかよしになろう」秋の「巡回おはなし会」それから、毎月一回定期的を実施するおはなし会です。春と秋の事業は、市内の幼稚園、保育園全部で22園の園児を対象に行います。月に一回のおはなし会は、乳幼児対象のひよこのおはなし会、そして幼児から小学生対象には、中央公民館と本の森で行うおはなし会、それぞれ四つのグループが分担して行っています。絵本

やお話の他に、最近歌われなくなったわらべ歌や手あそび、又、大人でも楽しめる科学絵本なども紹介しています。最近のご夫婦揃ってや若いお父さんの参加もあり、家族皆で楽しんでる姿が見受けられます。

又、小学校や公民館、高齢者施設などからも依頼があれば出向いておはなし会を実施しています。昨年は、柿岡地区公民館の文化祭や社協の親子まつりにも参加させて頂き、活動の幅が広がり大変勉強になりました。最近では、小学校のふるさと学習の一環ということで「石岡の昔ばなしを話してほしい」という依頼が増え、昔ばなしを通して石岡をより深く知り、愛着を持って貰えたらと、更に活動に力が入ります。

二つ目はブックスタートボランティアです。ブックスタートとは、赤ちゃんと保護者に、絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動です。一九九二年にイギリスで始まり、石岡では平成25年に開始しました。図書館、保健センター、ボランティアが連携し、保健センターでの四か月健診時に行っています。約30名のボランティアが分担し、毎月約30〜50人のお母さんと赤ちゃんに、一対一での読み聞かせや本で赤ちゃんに話しかけようとか、ふれあいましよと赤ちゃんと話しかけましようとか、ふれあいましよと話していいか困ると思います。そういう時に絵本を開くのです。赤ちゃんはお母さんと一緒にいるのが好き、お母さんの声が好き、そのふれあいの時が大好きで嬉しいのです。もちろんお母さんばかりではありません。お父さんでもおじいちゃんおばあちゃんでもいいのです。赤ちゃんは人との関わりが

大好きで、その時絵本が役に立ちます。

三つ目は、広報石岡や社協だよりの音訳CDを製作して、視覚障がい者の方々に届ける活動、「ひびきの会」です。その活動の中に、年に三回会員が選んだ作品を届けるCDマガジンがあります。以前、利用者の方から、昔話や民話なども聞きたいという声がありました。やはり昔から語り継がれた民話などは、耳に心地良く親しみやすいのでしょうか。利用者の方々に楽しんで頂けるような作品を届けたいと日々心がけています。

以上のボランティア活動は、仲間がいて小さな力を出し合い成り立っています。これからもその仲間感謝し、石岡がずっと住み続けたいまちになるよう活動を続けたいと思います。

最後に、どのボランティア活動も人員不足が懸念されています。少しでも多くの仲間が増え、活動の輪が広がることを切に願っております。

地域の子どもたちを応援したい

府中地区民生委員児童委員協議会主任児童委員
北小放課後児童クラブ支援員リーダー

三輪 統子



「地域の子ども達を応援したい」という気持ちで三つの活動を通して発表します。

まず、地域住民の一人として私は、毎朝登校の時間帯、小中高生200人くらいに「おはようございます、今日も一日頑張りましょう」の挨拶・声かけをして、今年で3年になります。同じ「おはよう」でも高い声、低い声、おはよー！、おはようございます、朝ご

はん食べた？、行ってらっしゃい、頑張つて！、ファイト！など、その日その時、その子によって声かけも違い、ハイタッチや握手をします。自転車通学の中学生や高校生には「気をつけてね」の気持ちを込めた声かけ・見守りをしています。子ども達から可愛い笑顔と元気なエネルギーをもらっています。時には、四季折々の草花やお手紙を渡してくれのお子さんもいたりなど、毎朝が楽しいです。

次に、民生委員・主任児童委員の活動です。私は、この活動を3期勤め9年になります。オギャーと産まれた乳児から18歳までの子が健全に成長するのを見守り、地域の目となり耳となつて何か気になることがあったり相談を受けたりした時は、関係機関に繋ぐという仕事に携わっています。

特に最近問題になってきているのは虐待についてです。17年度の虐待は全国で3万件。石岡市においては、1,055件ありました。（前年度より200件多い）子育てに困っている時は、自分だけで抱え込まず、身近な人や保健センター等に相談してください。行政においても、地域・社会全体で支えていくシステムであつて欲しいです。

続いて、放課後児童クラブ支援員としてです。放課後児童クラブとは、「親が就労しているため、放課後、お子さんを預かっている所」です。子ども達は学校から帰ると「ただいま」と言つて入室します。支援員の私たちは、「お帰りー！」と言つて温かく迎えます。学童は、子ども達にとつて「ホッとする居場所」であります。日常は、宿題をしたりおやつを食べたり遊んだりしています。お楽しみ会においては、桜咲く木の下でお弁当を食べたり、さくらさくらの曲を琴で奏でたり、夏にはスイカ割り大会、かき氷作りや綿あめ・ポップコーン作り、ス

ポーツ吹き矢の体験をしたり、ハロウィン・クリスマス会やお料理教室をしたり、し尿処理場見学にも行きました。行事においては、何をしたら楽しませてあげられるか思案し企画しています。毎日、子ども達は1年生から6年生まで一緒に過ごしている中で兄弟が少ない昨今、学童での生活は家庭的で上級生と下級生の子が兄弟のように親しく過ごせる場になつていきます。また、お迎えに来た際、親御さん同士のコミュニケーションが図れる場にもなつていきます。学童は、お子さん達を夕方6時半までお預かりしています。お迎えに来た親御さんに、私はできるだけお子さんのよい所をお話するようにしています。親御さんは、もしかして、お子さんのことをテストの成績などで評価していませんか？いやいや、お子さんの才能は、絵を描いても、物作りをしても、会話の中でも、計り知れない創造力ややさしい心をもっています。そのようなことを実物を通してお話すると親御さんは喜んで安心した様子で帰られます。また、もし、お子さんが生活でつまづいた時は丁寧にお話して寄り添い、一緒に解決していくようにしています。真剣に聞いてくれる親御さんを見ると、どんなに忙しくても、お仕事で疲れていても我が子のことを思っているということがよくわかります。

私は今、このような3つの活動にやりがいと生きがいをもっています。私は、子どもさんが大好きです。子ども達一人ひとりには国の宝であり、かけがえない可能性をもっています。その子たちの成長していく姿を見るのが楽しみです。

現在、私はこの他に青少年相談員として地域を巡回し見守りをしたり、ひまわり学習塾のボランティア講師として、小中学生の勉強のお手伝いをしてい

地域づくりフォーラムを開催



2月16日（土）、中央公民館大講堂で「石岡市地域づくりフォーラム」を開催し、区長・ボランティア・協議体関係者など225名が参加しました。当日は、公益財団法人さわやか福祉財団から長瀬純治氏をお招きして「生活支援体制整備事業と地域共生社会の関わりについて」と題して講話を行い、これからの地域づくりは支えあいと助け合いが重要であると説明を受けました。さらに、実践報告として石岡市の現状を職員から報告しました。参加者からは、「協議体の必要性が理解できた。自分たちの地域でできることをしたい」「できる範囲で参加・協力していきたい」などの感想が聞かれました。



ます。
これからもいろいろな活動を通して子ども達と接して、地域の子も達を見守り、応援していきたいと思っています。子ども達には、生まれ育った「ふるさと石岡」を愛し、自慢できる石岡になるよう一人ひとりが心がけ毎日を元気に過ごして欲しいです。

文京区社協主催「災害ボランティア実践訓練」に参加

3月1日（金）、東京都文京区民センターにて、文京区社協が主催する「災害ボランティア実践訓練」に参加しました。文京区社協と石岡市社協は、昨年5月16日「災害時における相互協力に関する協定」を締結しており、発災時における被災地支援活動で協力することになっています。

首都圏直下型地震を想定した訓練では、被災者役の自宅を町会役員、民生委員、社協職員、ボランティアと一緒に徒歩で訪問し、安否確認やニーズの聞き取り調査をしました。普段から町会役員を中心に、住民に対しての防災対策アドバイスをを行い意識を高めているとのお話をうかがいました。



母子寡婦福祉会へ 学童傘贈呈



石岡市社協では毎年、石岡市母子寡婦福祉会に対し、学童傘を寄贈しています。

学童傘は、母子寡婦福祉会から4月に小学校へ入学するひとり親家庭（希望者）の児童に対し配付されます。※この事業は市民の皆様から寄せられる善意銀行への寄付金から支出しております。

日赤奉仕団 炊出し訓練に参加しました



2月26日（火）、ふれあいの里石岡ひまわりの館中庭で、石岡市日本赤十字奉仕団、社協職員、市社会福祉課職員など44名が参加し、災害時における炊出し訓練が実施されました。当日は、日本赤十字社茨城県支部から講師を招き、可動式の大釜と竈（かまど）を使用し、けんちん汁とさつまいもご飯を作りました。

参加者からは、「簡単で美味しくできた」「実体験できる学習会は勉強になる」などの感想が聞かれました。

ひまわり学習塾 大輪の花が咲く

平成31年度
入試において

**受験生全員が
県立高校・私立高校に
合格しました!
おめでとうございます**

関川小ミニサロンで花壇の整備

いきいき関川小ミニサロン（代表 小坂部 和子氏）では、小学校の卒業式を控えた3月12日（火）に校内の花壇の整備を行いました。花壇は、児童がサツマイモを植えられるように、雑草を抜き、木の枝を取り払って整備しました。汗を流した後は、お茶とお菓子で楽しいおしゃべりに花が咲きました。



募集

生活サポーター募集

（在宅福祉サービス）

高齢者などが安心して日常生活を送れるよう、お手伝いをしてくれる方を募集しています。

- ◆活動内容 生活支援（掃除、洗濯等）、子育て支援、病院や役所等の送迎付き添い
- ◆活動日 月曜～金曜日
※祝日、12/28～1/5を除く
- ◆活動料金 1時間600円（午前9時～午後5時）
※時間外（午前7時～9時、午後5時～7時）は1時間900円／交通費別途支払い
- ◆資格 不問

※プラチナ応援事業の対象です

募集

農園を

無料



利用しませんか

高齢者が健康で生きがいのある生活を営むため、余暇を利用して野菜、草花等を栽培することができる農園を無料で貸し出しております。現在、若干の区画が空いております。興味のある方はご利用ください。

- ◆空き区画
旭台3区画、鹿の子7区画、杉並1区画
（平成31年4月10日現在）

- ◆利用条件
市内在住で60歳以上の方
※先着順です。



お知らせ

心配ごと
相談



※予約不要

	石岡地区	八郷地区
実施場所	国府地区公民館	石岡市農村高齢者センター
実施日	6月14日・28日	6月6日・20日
	7月12日・26日	7月4日・18日
	8月9日・23日（金曜日）	8月1日・15日・29日（木曜日）
実施時間	13:00～15:00（受付：14:30まで）	13:00～15:00（受付：14:30まで）

善意銀行 感謝の報告

心温まるお気持ちをお寄せいただきまして、誠にありがとうございます。
お預かりしました善意は、地域福祉の向上のために活用させていただきます。

平成31年2月1日～平成31年3月31日まで(順不同・敬称略)

物品の部

石岡市ライオンズクラブ	カップ麺	11箱
	ソーセージ	1箱
	パスタ	1箱
	カレー	1箱
	缶詰	1箱
	お菓子	1箱
井坂 日出代	JCBギフトカード(1,000円)	3枚
パールショップともえ石岡店	お菓子	2箱
パーラーデルジャン小美玉店	お菓子	3箱
横田 まさ	プラチナ応援券(500円券)	4枚

匿名	カップ麺	3個
	調味料	3個
	お菓子	3個
	飲み物	3個
カーブス石岡杉並店	食糧	31箱
石岡ロータリークラブ	カップ麺	4箱
	缶詰	20個
	お菓子	3袋
	レトルト食品	20個
高橋 利子	米	20kg
田中 てる子	食品類	12個

金銭の部

石岡一高生徒会	36,587円
1ヶ月1分のお仕事を教える会 関 健司	10,549円
手話サークル楓	257円
ダンシングスタジオUENO 上野 修一	20,000円
コールそれいゆ	5,923円

土浦友の会	5,000円
石岡市中央公民館	
バードウォッチング講座	176円
石岡の遺跡と城跡の楽しみ方講座	140円
小幡地区公民館長杯 ゴルフ大会	14,500円
石岡市東地区公民館 石岡の地名と歴史講座	134円

使用済・未使用切手

◆日本生命石岡営業所 ◆(株)ツムラ ◆協栄線材(株)石岡工場 ◆匿名 ◆学校法人木村学園石岡幼稚園



石岡市ライオンズクラブ 様



カーブス石岡杉並店 様



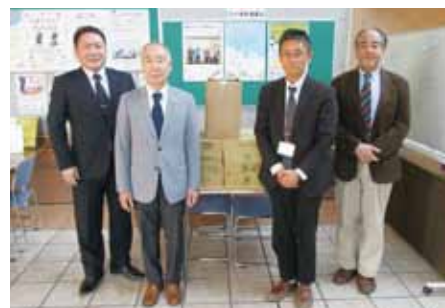
協栄線材(株)石岡工場 様



ダンシングスタジオUENO 上野修一 様



学校法人木村学園石岡幼稚園 様



石岡ロータリークラブ 様

問い合わせ・申し込み
(土、日、祝日を除く)

社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会

本所

〒315-0009
茨城県石岡市大砂10527番地6
ふれあいの里石岡ひまわりの館内
TEL 0299 (22) 2411(代)
FAX 0299 (22) 2440
E-mail: shakyou@atlas.plala.or.jp



八郷支所

〒315-0116
茨城県石岡市柿岡2155番地
石岡市農村高齢者センター内
TEL 0299 (36) 4311
FAX 0299 (36) 4312
E-mail: ishishakyo.yasato@orange.plala.or.jp

